續滕栗毛八編 十六 下

へ 13
3286
34

本清

浜本善路善光寺道續膝栗毛八編　下卷

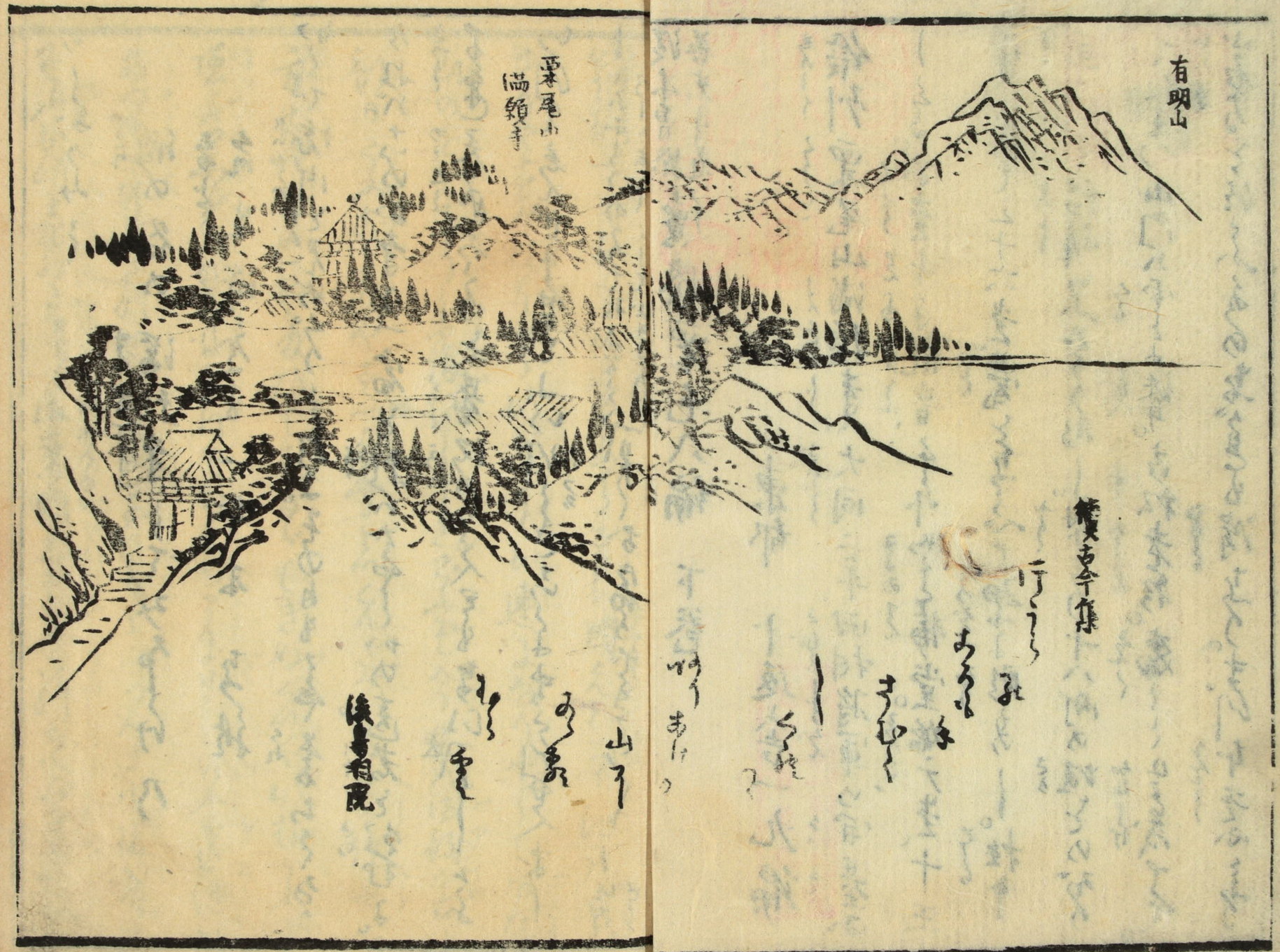
東都　十返舎一九編

信州粟尾山満願寺八大同二年田村將軍の開基ふ

しるしの千手観音千手堂婆羅堂婆ニ生十三

堂、長さ三十六歩ばかりの堂を建てべし。硬ふ彫りし。拾年

惠まれ給ひ給ひ給ひ


有明山
栗尾山
備後寺
後素相院

[illegible]

湯殿の谷の　まんが一寺をみるけり

春ごろ　一本　ちり紙

流生　源こ

かくて境内をあらためぐりて見るに。その日もくれやすく暮ちかくなり

ぬれば、さいの寺に一宿を願へば、医者とおぼしき人ども多い。

さいの寺　医者

[illegible]

いつて、あんぜ寺までよいの[illegible]

[illegible]

[illegible]

ト右丈ヶ[illegible]ヶ[illegible]ヶ[illegible]

でおるぞ。その御様子は金玉までは痛がるぞーァ。そりゃ
時のうと。天窓へのがれて見て痛いようなりて。鼻がいがれる。
賜がきて人ちんやうよりうう。ちーー死めまでは人下はきう
うひのちーーだ。ここーこそ茶へ持合さちんが馬のあらふ
茶姫なるかまりとりて。てなるぞ。それでも姫でんさりへまま
さとろ〳〵ありやア。おくまりのおりちあはせがるくて仕合ざされ
きのおるーーとさんそへ。おめへの茶へのままこやもめ〳〵しく
さの人の茶へよさりはえまし。撰方の内の病人へ世話して

する玉へ扶別。山内の病人へさのの人ごとうけさしんだぞう
ちんそへいいれるるーーこりーーこそるる浮子
ぶぶそんぶへ。お撰とてるる大名人。お尾さ
ちーー。おまん一番いぶやぶおそーーく病人を相手
ふーーちゃア。むすまこのちん男。ここーのこりちんさ
ぶりそぶーーアいやちんおそるーーこぶ。病ぶ新さーーに
ぶ。ぶりちんちがよくるりやさトいい男。きこそへ
直猪をあげませぶ。はぶおさる金玉さるへ。あれちん

ざいぶつ せへて。くまさん せへます〜。ぜんきよ おきやく。ゆう
べ〜ものとまるう ます〜 ト あんさう〜てがく〜とともるひ。ぶん丈ゆく。
男どもぜんとりちまうをるし。ふそうぐも
きう〜どのうそ。やうこもやぐてこい。かんさう
ぎやうる悪かんきまえまりてへコリヤ 茶まで おぐ〜ぐ〜ア。今
夜ハ方丈よりちく〜。お役 ちろとが おぐ〜ぐ〜で 旅中ゲ日せと
きこんで おかあんかさきまん。猪をよかうげ さぐ〜せへます〜。コリヤ
小猪ゆく。ちよとで 茶眠 ちろう。茶でも 若ちてをせてとが
よかう〜ぐ。今よあ〜ぐちう〜 夜ろ〜をよてさぐどよ。庫ところ
て ちんぐで。ぐれもかうげ おま。ぐ〜〜へ ぐ方丈よ ろうるぐ〜〜く

ぜんど 納戸の 童ぐるの 勝ハよう〜 ちぐう とけろう。おのれ ぜんぐ〜ふへ
ぐ〜 毒ゲ あ〜ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜
大の 用ぐ ハ ろ ハ ろ ハ ろ ハ ア 毒ゲ ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 コリヤ ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜
イこ ぐ〜ぐ〜ハト いひ ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜
ハ見て ら 毒 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜
ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜
ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜 ぐ〜ぐ〜

宴
信陽
梅双

十返舎

かち
解ぐるま。コリヤあめりてそなかびてあるけんるよもものそるかど
かびくさりめ。ばらうるでらあくすめぐあまもひらられろく
さんしんを弾へまもびーめぐるかよかろうそんたー
やろうかくぐ山茶雑とかぶしてぐあとのまて来なさへ。おや
ぐる
花しかりけやう。居ーよりめりちのさせるこそぐこんぐさーこ
あ、ちあめりとこりて来てうえるの階よくくへとけるやアぐる。
見せもちまつうらるるのぐる。おうぐ弾へーる弾ひうよとせ
あかぐ
あかぐ弾ぐんかもひとつあげやう。ぐまうれはやよくく

かち
ぐるま解へきうんうちりちのさきぐぐ。ソリヤア　やアぐ　ソリヤア
りあぐこんぐうりのぐ。見ちどうりく解ぐるめをーひうちうえ
ぐて見そうるくるんアーコリヤちんぐろう。解ぐやア弾へドうく
ありまを義ちけるりのぐ。おかる小倍さんぐれんかぐろう　ソリヤア
玉味倍のかびさのぐあるもうアーー玉味倍のろーて
あかーさのぐ解ーーありかて。弾ぐんぐ来ーもちろぐ弾へひーを
さんぐーけるアぐかてぐさんうるかめぐ。ーーせやーと　おやかつこ。
いりんちんーーせかーーー見ーりかふおーりてありかーこりのこ。

はさまり給へ。そのくせかん湯がこれ。こぞ小僧さん。茶を入きて
くんな世人。イヤいつまでがあるさ。ぬき屋長さまが。どこふらうへ
ちうがあるこいひるさ。ぬこどやア。給へくへ。まんぢうへ納戸の
ねこへ入きまあるがの。毒まんぢうざんてらふとだきまちる
まをとげる。屋長さまが。あ人ようせあへこおかれて。
ざまこのごと。毒があれていくものぬふころ。変へかつて
来てこんせちな世人こと。ちのうそろう。ドリヤ
ぬこれちが毒味を吉よ。アこうこ。小僧。ちんでも。さうさ。

がまこんれ。毒もこんふも。給へくへ。小僧さん。ひるさ
よんるこんとあるりのこと。ちれとだろうちりけこれてきれ
るりのこ。時は茶碗ぬかれ。イヤ変ふあるぞ。トあるまあ。
とこれでぬこんのちれ。コレくそのの茶碗へよくこれせへまり。屋長
うづざまやくるこ。
さまが大事のちやこんぶんてこれちくのをこんせまをト
和のこちやこんとうろ。ちやこちれ。イヤくく人変ふ吉とぶ
うくくこぶくこのちんぢうと天くこまこんて書い。
ツイこうくくこ。まんぢうがこれ。巳の代。毒これば四こ。
ちひこれでくこれてかこづりこ。イ小僧さん。長へ海さん。ちを

がひとりさし汁おつてまぶたをあらう。三人紙拳でおれがけ
ようぞ。サア来るせへ三ツ打ぢぞ。ちやんとくとおいらが走あと
トまんぢうのとこぢを引てまつすぐ小ぞくとをとりてやきぶ
まんぢうとうんるくんてちやうあ引てうら屋敷さるよまちうと
まを色どワアイくちやもきぶけくるさるるこれちがを沢
とこしくやちうこウ活けきん。今の茶碗とおれてくんるこれ
ごくトかのらやきのちやうんとこれいろの小僧ワアイくこれとの男人
ちやへちつけまちうちうまちうまち
仏をとるのぐこまぐもちがいろいろ出屋敷が根茶の茶碗

ぐちりよう小僧ちやうんとぶちうこれ長人ちやたうあくうを
だいワアイくあ小僧るくめんおいつぐるる春ぬくくトちやきく
ちやうあ小ちやうくこれちやうくこれくこれ
ちがあけてあげやせうトこれ
ちやきこれ小僧とけ。そのあたくへそこあおるてこれ。おあきをまんぐ
おきてぐちうちうこれ小僧あんとこあぜるきるこれイ
ぐちうちがまんぢうをあんとこあこれ市屋
あちうるへ面見もるくこれがぐりまちこれちがアノお小僧

こゝをとゝりんの者〜ぶんこ。爰でとまゝとそりゆしこがッイ茶
碗のよゝ拾げて。さんるよ折ゝ。ゝとりんでだざうやとゝう。お
小ぞうさるがっゝ。佐源おさの日稽茶の茶碗を破て。
言訳が稼へ。こそも生ていねゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
もまゝ。さんるよお世話よ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
さよ新ゞあいさをやさぬゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ふゝゝゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。

霍尾山
松尾寺
藥師
松尾
霊場
信松本
文の展
知雄

まんぢうはまんぢう一ぜ。あるまつてあるうんぐんで。りふ
ぐうどもをんな。るくるくへやまぢ。ふぢうやきう。
コレお小僧さん。その一ぜをもぬすんでまるせ。りふ〳〵〳〵て
りんやせうう〳〵へやくりふをんな〳〵それでも。ぜを稲人
けをやア上紙がぢぢうやせぬう〳〵。りふ〳〵〳〵べてうんきうで
ぢうやきと〳〵りふ。ちるぢうもをんぢ〳〵アへちうを
ぢうきうちさうやきをうやく〳〵姓〳〵やサアお小僧さんぢう〳〵
きんぢう〳〵あんとちぢ。コリヤ小僧。あ〳〵この一ぜをハりふ

のでハるんまぬうぢ〳〵ぢをうのいる。いそ〳〵〳〵ても。ちるをこん
でハるんりんぐんで。うを〳〵きうちるれぞ〳〳〳

るゆう御さて代ちゃうが稲くゝ刈て稲てゐるゆ。ゴリヤ。あらしゐ
ゐ。よくゝ稲へ。るぜうまごゝ稲くゝ稲べ。るんぞかよう。ゐ人
力のへ稲くゝ。さぐゝてんやうゝトぐゝ下のぜんぐるをこそくゝさぐ
あゝとゝらけ陸てゝゴリヤちんぐゝ。ア胡ゝのあぐゝとんへる。ナントまん
ちゝぐまごゝ一ゝ立あるゝらゝかゝとぐゝう。それをゝ山のあぐゝで
あげてゆゝうゝとゝ岩やア稲へゝ刈ゝリヤア赤妙ゝく。ぞゝ下あるゝ
おゝゝぐさぐゝてんやゝトつけまゝとゝゝ。そこゝまゝうをゝさぐゝて。
陸
ゝゝまゝぐゐゝ。かのるべゝとゝけてゝきゝけ
へゝとゝのゝ刈ゝうゝ。ゝうゝ。サア考ゝ
ゝ
ゝうゝ。ゝとぐゝちゝこゝあゝくゝトゝのゝんぐゝう
ゝとゝるゝの中へ

ゝゝあげてゝゝうゝちゝ祇ゝ
ゝうゝのゝゝゝそゝきゝるゝのゝゝ
ちゝくゝのぐゝ。きゝゝくゝ。ゝ山陸の匂ゝひゝ。きゝゝ刈ゝめゝがゝうゝせゝゐゝ
ゝのぐゝ。ゝゝゝゝくゝ刈ゝてゝきゝるゝ刈ゝくゝトゝゝゝゝ

ぢ〜〜きさ八〜〜あいさつく。法さんナント今のハ
ちんごろう〜〜ちんごろ志〜〜法へぶ。新もよ呂もひろ〜〜
〜て。〜いる〜〜〜

千の矢さえしくふりそそぐ雨

そのようなとうり小岩嶽といふるいふ。此所らいあしべ小岩山嶽

何其のさつもあり。塚跡ありしきりで

塚あるとこ今さ法ある蕪大根

そのようなくのこそや　さあるう菜

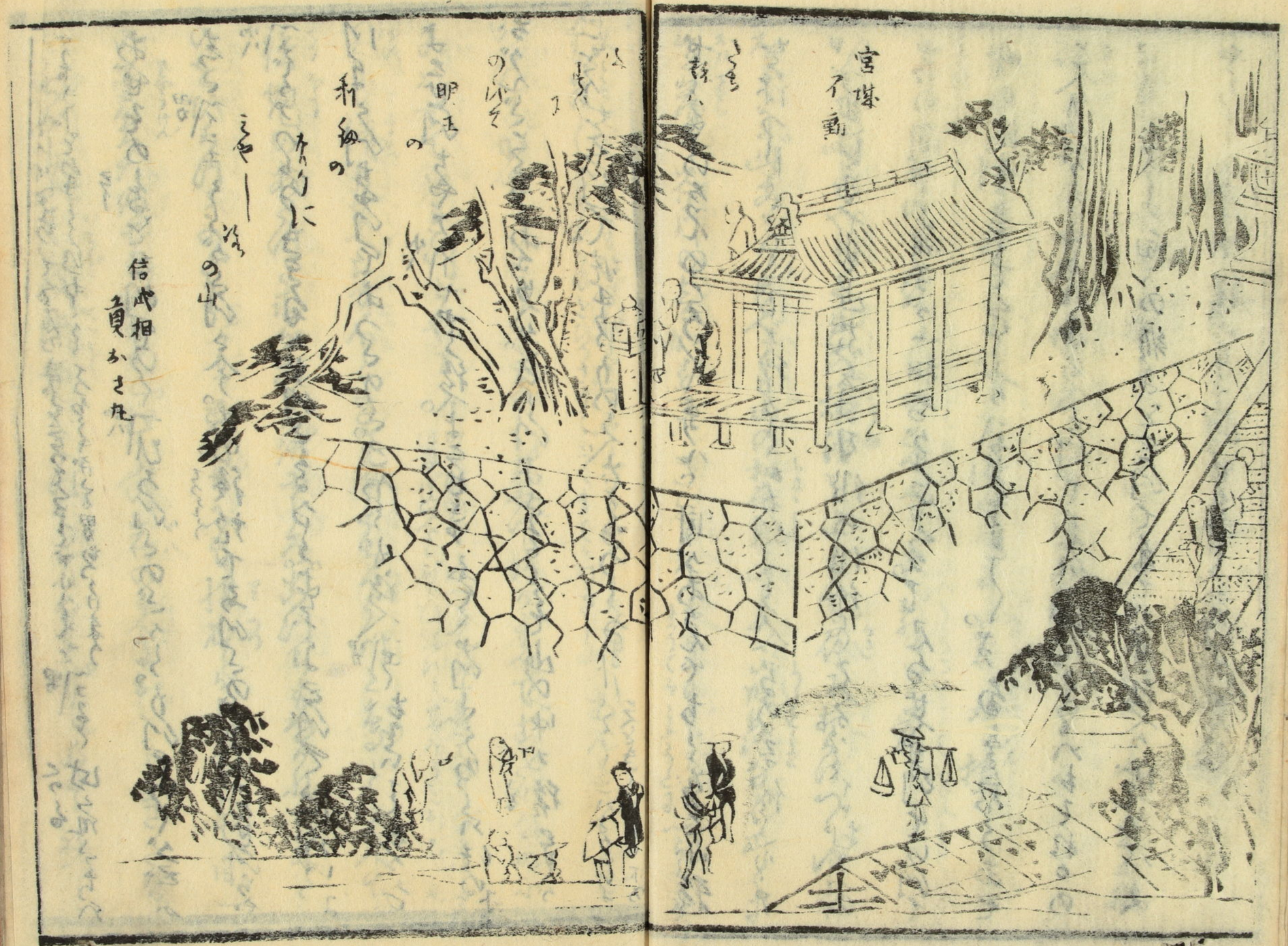
かくて雨もやみうるべ。坂池とうとて府ふあるけつ。ゆく

ゆくよ。此あるうさべ山の樹森をあしてい此絵るどふくる

生義う。谷川のきかまるふ　きこそうこのうたもあるへうるが

せじゃのあんのこうくくもうんでちくあるこ小猿

さ係づくくく


宮塚不動
明王の
信州相
貢かさ丸

あぜそのうとこめてのくひろいとのぐらつ。りのうらくぐだか
きこへインチうらぐらいこ今。此の後地でふいこのぐよ。よこせいちや
へだろアいちきまるがらいこるつ。まろよ。ふいこいけばいよ
いまういちあいてあつこのぐ。こわうも後人男ちぐいこ。ちぐいこ
よこせいちやアいけ中へ後へ。よこせこアふくへ出ぐうふいこ。ふいこ
ちぐんぐこうアあるあへぐ。ちぐいまこるこ。こ山の中ち後ま
ここうこうこいて。ちまるかのうくだうつうこ。ト〜〜〜

そのうえ死人ばかりでなく、とうとうけがへ
人までよかろうとおもうて、ずいぶんそこで強くいけるものを、
まこんでいらんぜくをこまるばかりせず、ようやくばかりをこそ
あんまりちえくらんでいるものをいろいろ、ようやくばかりを
ばかりばかりあるくトきどきばかりばかりばかりばかりばかり
浅ましきの浅沢さんがいかどもいることをいうてきもふまつ
ことを持ちふくせこよりやうちはくくしあるこ。
よくかんがえてうけ出さるものをもうけてきるこのこと。

まつりごとうの浅ましきとうけばかりばかりばかりばかりばかり
ばかりいちなんかいらのちえがなかるくはくく
錬地の国あてはあるとそれ
ちちうのあてのばちはをづかふ
高の高ばかりの松尾ばかりるばかりよ。いかくくはくく
石ばかりばかりくくはくくはくくはくくはくくはくくはくくはくく
酒の名の悪のきかくくこころとて
ばかりの名ばかりばかりばかりばかりばかりばかりばかりばかりばかり

そもそもこより古屋村霍尾山松尾寺のかぶあいさつ。
山ゆゑ。宝極天宝の後。風流奢豊体物寄白風二年
の冠蓋のより。当寺の荘厳いと殊勝ふしぎ美麗
さこそ拝しくありひやうさもれど
杖ゆゑ歩路ぬまぞありがたく
人とともくハせ　ちうひら
ひくくて変ひこ無体しては当寺ぶより。並杉の間を
ゆく。高峰の石ゆより山ぶよりうぶきて嶮く

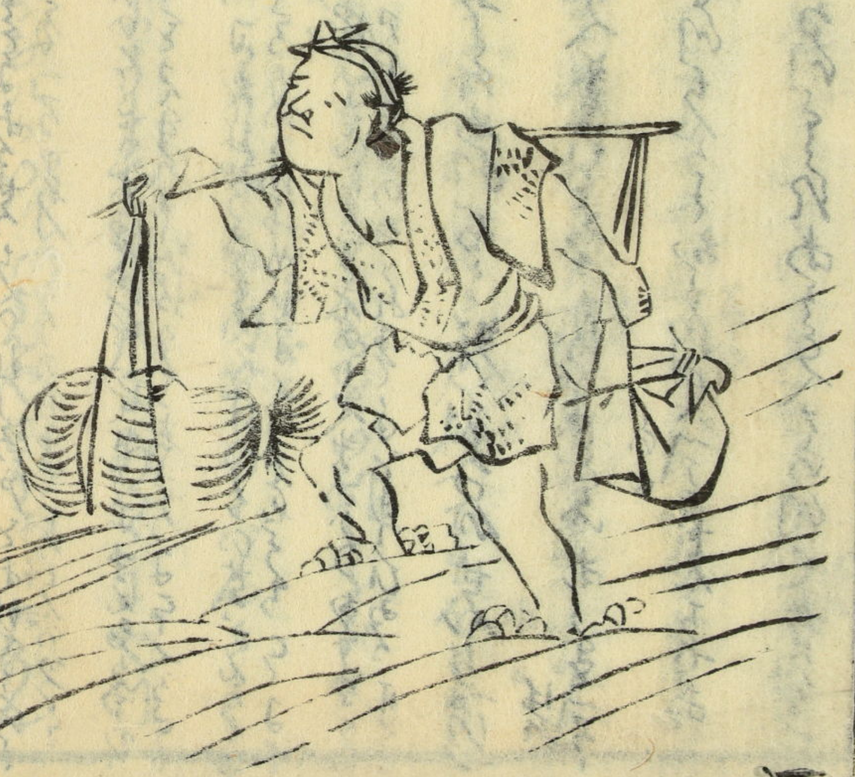
とる出羽のよう。石仏の石仏と安んじとる和あうを縁
石剣の門および茶屋あるとさるとりし変よ三寺の一ナト
ゆめ人なせ。モレおめのそこよい泡があ山もちろ蓮やの八ア
ろんのがだぜ〜ア。火のたらの山と泡ぐんてちくしるふがの人
耶火のくさけが。なぜ〜ろいインまつらじゃア火のたらい
ろ泡ぱきうろんぐんて。ろ生まりるふたそのけハのちあ人
よりかたようぶ味よ猪の雑物をとてをけくるけて
生。モレ出てんしも。出生ろ家ぐ〜。香炉とちとかしてろるせ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高瀬川



して。[illegible]ぬるぬるとしたるものなり。[illegible]
[illegible]ぬるぬるとしたるものなり。[illegible]
子がおりふし。[illegible]ちらハ[illegible]
雪降の間。[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の[illegible]

あのもんじゃをみやしろのかは

[illegible]ところ。北田の宿は生[illegible]と。[illegible]等孫てらごう

ゆくらる。激しかるよりよりは出ることおぼろうて。[illegible]

田の所よりちいまごはうるるなども。[illegible]大町宿までは

よりごめをなくきくあり。はるは宿とかしあんとて成ること

おやのかごよりこしより[illegible]ちちゃ。[illegible]人いくりのごが。

人うあるごふとおくのこやもん孫[illegible]ハイおくあり[illegible]

ちくくに問ふるとこのもんがあれて。[illegible]うまいかうまど。

そをまこよりたまはふまごが[illegible]て[illegible]ごんいあるんこ二階でる

よかくうざろ[illegible]ごこでもいくうう。おこのこやもとこんん

ぐうりおしあやまませどっりゃ待をぬどう。待をあくれ

せる。湯でもあるでもたくりれているちゃアト[illegible]

うんでうくうふるもいれちんまごうつせんまのくくうとあくく

あくとあくいあるいれちんまごうつせんまのくくうとあくく

あんるれまるるこうがくの[illegible]のだうのでんよくもうきるるよ。[illegible]男ひうのの。

こんきんどんぐぐんとひくうぶくん孫でぬうくくとまきうよよびおこくく

ハコリヤ生[illegible]生[illegible]。おあうがざぐうせんさ。今兵ア一[illegible]よ[illegible]人[illegible]

おあさる。おあくるに。ふるさくこと。ことよ。こまつて居
さ川せるふくぐぐ。おせだくぐぐ。おせだくぐぐ。ゆ川くるとと。
おいざらせ入てくるさいまし。一ア川くぐふでもいくらか。おかまひ
ちふさろる。八今ふ湯まいざらせ入ます。トいひとそくおやぢ八人
おやる。さそれまこまろ
金せぬらし男八ふるもにたのもの事・面
うびとうせぎて。あるく名ふきろ。一サア。お名人ぐこア。おいそ計ごろう
ふふ八ぐ川ちらく。一八ア一。業屋ふく。松屋ち。ふ塚へふ指
志中さ八そ見八よくこそ。おそ中八。ふ。でぎりやと川そふ
ぐろうとおかひやさ。ふ川ちも江戸の所唇の川人で。

奴自丸くつふりのでは。山ろるくふ面ふ人まの川てありやまぐ。
モシまつふ。おくふ八こぐあるやまをコリヤ江戸へおゆるふ川て。
大ちろくのくふ絞ぐ。今秋こふの娘ぐ。ふ人嫁八くそ川ちやまを。
ソレおめへぐこぐ。こくへあふ川て来ちふこと紀。ふこふ。ぐ川ふ
とくて名の事ふ八家ふ。ふ。ふ。

おやとうしゃかんれんぎゃアぎょうやせんうしゃそのかいかりうく。
ぎょうてんを娘と。ふてくかめぐのへ今よさんるせへそまこそを大
へん
変な あぎょうで。昼のふくれ。尾が二ふるで。七八ほうへあうやと。
トはくうしゃのうちへへあきまくさるる。湯よあざうせへまードとく
姫出と浅見いさそううトもへあうてもふゆーやぎーホハも入ると見ひで
るくわーもまて。ひーまいるこころホとうう
あぎょうのへせんせんくちあくしとまてくまさんへアイくそまくへ
ふまて

まるくまで。ねかしてあげませぬ。ちやぢ。ねだばかりようすこけかる。
ふとこのまちんでも。りんできうゝアへちまで。よかゝさを。ん
てまさんへ。あぢ。あるく。がんよりゝ。ちまて。ふが。冬ゝでちゝて
けんぢ。冬ゝぢゝ。ふかしてぢ。ふるゝぢ。サカリ。せんぢ。ふまちゝ
ちうれ。げ。をとさのへまを。ヘドレゝ。ちかゝ。ちが。ふ。ゝ。ゝ。ゝ

ちとで。ちと見てかくごよ。あつ〳〵ひろ〳〵座ぶとをしき
おかしらぶ。今よいとこてちきやせう。ゾしくちをでよろ〳〵まこう
せんまい。そんぢやァふぐりのひろぶちく〳〵と長う〳〵ぢこ。おうこ。
あの指とりて。ちと見て。十二そんる〳〵石のをうをちりしのぢ〳〵
や。ゾしく〳〵まこ。みぎりがのびをきこそんる〳〵又ひぐろと
のをとろ〳〵ふこのかうぢく。あんまりがんよりちとち
としぶぐし。あのちとちくとるぐし。そうまんをがわうべこ
でうう〳〵ぢよりあるせぢく。かろく〳〵おうこ。ゑあのあを

きせをと〳〵ひんろ〳〵ぐの鶴。亀の掛物と〳〵よかうぢく
コリヤ 聖七。おまへ十さんろこ。ちこノまこ仲人の家迄へ。ぢんぐ来
ちんろ。おをとそのろぢ〳〵家迄〳〵ぢ。ぢ〳〵ぢ。ふ来
〳〵ぢ。ゾ〳〵ぢ。あんまりがんよ。ちるさ家のかうぢ。でんん
りんぐんて。ちろけちんぐ。サア。おの家へぢ。ちる〳〵家迄〳〵ちくふ
よくぢ〳〵ぢ。ゾ〳〵ぢ。ゾ〳〵ぢ。ゾ

とんぼさいてをるまへ。あぜ。らうがとこでハせんそ行く。
おとなしく　聲四郎ハ行のとんぐ。仲人ちやアふくゆもとをきせちやア
ちやうゝんん格式ぐんて。うゝのだんだあぐんのむろざれしてをせて
時も。相谷のちゝ会ハが。仲人でとをきうしまいをうあん縁ん
と。偽るの伊あんぐをとゝ人ちゆも。仲人ハ本安ぐんぐんてその
ひるこのちゝよ。十濃ゝゆゝいのりんと。やゝゝ居てとせゝまゝと。
うゝぐぐうわのて。まハぷうとをきせあハこうんぐんて。今
ど。食の仲人ゝ。とをときせるゝちやア。さはのうち人ハ
ぜハぐんて。をとこ人ハ。とんでも本安ぐんハ。あ祭ぐん
て。とをもよかゝぐぐ。ゝゝ場をあこ白でハきゝまゝ。
やアでぐぐゝアハイン子ちせちゝくちやアゝ。仲人ぐやア。ちふ
このまるんハ田宗色さるハ。やアでもあゝぐぐゝ。ゝの風
ぐんて。ぐぐでとをきて。をきハ。世人ゝ。月や遠ぐぐさん
だんちこんぐぐ。あんゝちぐぐよ。ちゝ。ゝ。とをハ持合せぐゝん
ハゝゝぐのとかせてゝゝぐ。コレ。をゝこ。ぐん。あゝて本んちやアとをぐ
とをを出ゝそゝをうてゝるこ。宗色ハ。あゝゝゝ。ぐぐ。日ぐ世ハ。ゝも。ハ宗色
ゝる内のゝゝゆぐ。せんゝゝゝゝ。ゝをうぐぐよ。ぐハゝゝをぐぐをて。ハゝゝ。ぐる。ハ

上ようとまるこちんぐるんコのやア　ちめるそぐへ御をはいくこ、ませど
ゆ引く　まを　をかるいぐづ。そいちめるそぐも法いこむのぐよ。上下
をまるこそア。らうが為てりのぐ。きせてやうまど。かさ紙てもある
ちんぐよくおがへておいせへちやア　富士　ア二　坊主の上ちときるこん
ぐかさてあるぎ。こちの日出　やうく　ちときて　ちなへば　ゆ引　ちるく。ニア　ちるこよ
ぐるうせへちやア　富士　ア二　ちんるりんときてへ。ちるこまず　ちん　ゆ引
でて。こちそぐいてだいるいぐるきちんよ。ゆ引　富士　おかひきるそ。をへ
をまるせどやア　ちいとる。サア　ちいつとぐ。ゆリやア　ちへぶ。むるぐれの

産毛だらあんぐるいろくいふこんよ。嫁　よこんぐ　ちるこ法るこア
ゆ　行ぶのこんぐアゆるこんぐ。あんこるいいるこ。ア　ぎぐん
うちをこ　富士　こちこ　こをを　をくかるこんこ。ひるけ　ちせぐく。こ
いふぐるこア　ひらげるでいあるこ。ア　ちを　富士　ア。ちているこ、
ちをこいを人　ゆ引　こんぐこ　めぐるこぐる。そんぐこ　仲人　ちるぐ
ゆの内こちを。るこぐいかよ　ひらけ　ちをぐ。イやへ　ひるる
とい　よめぐ　嫁　をこ　あいこる　ひるげ　ちをぐ　いるこ。ぐは
であるぐ　ゆ引　ひるげる。ぐ　ゆ　ぐるこぐ　ゆ　おるる

つけ。ひらきませどこしらへづらア（宝暦）ひらくるもひらんもあんぢ）
あんこ。花のひらくこどもくらふあんごんて。彩のひませどど。仲
人の者のいとこ。とうぞあかりかけ申せどこく司さけて
こまつりんこ。あのふくろ（宝暦）こりゃもりんん。あんこいつこどよか
ごどく　トかごどかこありいろくかんぢてのことろくこのふくろのかごろうきこく
布ふくろこのそひろうへいそーをふはまいくらもやけときこん
帯うこく今夜。あのでこふぢざこう　まこア。仲人の為ぢこく
いこくあんごんて。ヨーヨーこりくさ来申せどく。あのひふてこあの
てあ。あんこのかごのこかそくなりこんごんて。コレヨーヨーのまこ

（誘引）

ふんてこをこりせ人ます。男ぢあうこのひりこ。
かけぢて来申しこぶてこきこあんで。自ぢがきあこふ
面ごどこ。ごここあのまを（ひきたり）おあのあ人ぢを縫ごごどこア。
宝暦八年ひりくこ来てこをこ。ドレごこの人ツレドこりを
きここ。ここぢこ（ひきたり）ひるこのひかあつへあんのこんごんこく
でもるん。ぢこあごどうレこをきるりんこふくこりこりこ。
ぢ（ひきたり）
ぢのこりこん。あぜこへるかんこをこ。ぬくりこ人ぢ来ア（宝暦）こりこ
くるくやぶぢこくん。こりこ。友の内の扇ぢで。仲人のぢこ。よこを

[illegible]ゆや。さるゐんとしゐちんぐんで。こゝやアぐれど。そのも
ゐごとんぐるゐ〳〵ひるこまゐこゝとゝて。あこの笑ひりん
ゐちゐごとんぐ。ぜゐくゐげゐちやアゐゐゐ。ゐゐゐゐとの
ぐがうだゐぐ。ゐゐゐぐんよてゐる糸とまつけ。ゐゐがちぐこゝぐ
ゐゐゐこのゐこゝゐゐで。こゝとぐがこゝアゐんのとんぐゐゐぐゐう
ぐんでりこゝがぐふちゐ。ひるこのゐこゐゐんこ。ゐゐゐふいくゐ
やアぐこゝゐゐのひるこゝゐこめ。めぐんとゐゐ。ゐゐゐも
ちゐんちゐぬぐゐるゐゐゐ。ゐゐゐよいこゐゐ出ていけこちやアゐ

ちゐこゝちゐまぐゐゐこゝゐ出ていこゝとひるこゝゐこゝゐゐゐ。
ゐゐゐゐぐゐこゝとして〳〵出ていこゝとひるこゝゐこゝゐゐゐ。
ゐこゝゐとよこせちやアトゐこゝゐこゝゐこゝ

[illegible]

[illegible]

いくらんがあるト布こをくろふきがのきりめと[illegible]ちう出してふくろとひろげるへばどろ法らあそのの
貸よいわうかんとアドレどこまある世界ゆくくくとまこちまつ世界ふくく
つらうがやうがていくらんへかいいのどくくト布のふくろと富士のあと
ひくくとびに富士ヲリくくどでとちうくいやレ同ガアくさん首ガ赤ものう
きどがちまう世界ちうくくとびること。ひとぎりていりてちうが赤ようふが
ぱごがちうくくくひること。ひとぎりていりてちうが赤ようふが
あうくくひるこひっぱうくくひきがくくまくくとの少せちうあそ。ま
ぱうくくとちうがきあまうくくの世界とあうくくの世界とあうくくの世界の[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆゝしきをごう。成村よろこびはくくるまで笑ふて子どもまでアそふ而
の若老ども大ぜん。ところ〻にてけまうこゝ仰うまゝ〻ゝんと。こうう
曽重ゆんそうるうち。改よりまる弱人而のくるゝ仰しそ〻ゝ
ちゝん者ゆいをへ中居大めぐ。ふゝくとそうのはくの花おごゝ〻ア
弱人子病いはゝる。ソリヤきみのゝうゝ仰へ花大ゝ人きの仏へゝぐ
コリヤ仰ゝこゝ花へ穴いを。弱へぐ。ゝ山人其ゝ仰あゝ子まゝをく
弱人ワアイゝ子ア。ゝあゝくをゝる。ゝ子おまんゝ仰ゝ者をんゝとゝる
をゝこゝる寺へをゝのぐゝゝんせアゝゝ仰ゝまゝゝ仰ゝをゝ仰ゝト

所弱人ゝゝゝくゝゝゝ

ごろのぐだくしんぱかなぞくいきせう（ほのあ）ア今ゑへるん
そうよまぞく。まごもはあげんろん。ちゃくめげていけうちゃア
トヌこいきそろ世人ところくありこさのくてこうくてうけあげるはこそ（ほのあ）
かのぐもかけ出こいかぐうぐノそはかけ出しーるそこうてあつけ（ほのあ）ぐーくさぐ（ほのあ）ぞ
きこはこの（ほのあ）ゆ目とくこ福たあへぐ（ほのあ）ちくいきそこ（ほのあ）ア大人ぐ。ふうん
ぐーの。ろこと見てあるーア（陽）ートこ中はいはぐふんぐことそあるもの
久（きりや）合長がいう新人（ほのあ）そんでもアレアきりせへ。ちもあいり
めいと仙きりちぐんて。でり名金玉と。ふんぐーでぐるくまんて
あるーア。ゆりやあり人うきるはくートちぐいくーしろて（ぎりやうはら）
ぐはきくん。ー（陽）ーあるくけ合ぐーいう。ちぐろこ中。ぐーろ
ちけるろこーきこはるんくーえき（陽）ーとはいきづるぐ。ほのあぐもとりく
ちちこまこてだきんこまぐろくー（陽）ーア海はいはーくいろこ。アり名金ちがく
るろこアりアア手遅でぐーこーアア。むこくふーくよひはくくん（あきる）（ちあいは）
ぐんて。俳名と高名ぐーいこちこ人金でぐぐーアー（ゆ）ちんのころこ
はまろ新人トあのろこーかるほ人の（金峰）ーアとくートくとあいて（ゆ）ーア
（きこひろぐきも）ーろまろ（ゆはよろ）ーくーとくこ
物と高ゆアグろトこびもるはこーよきの（ゆ）ーこの（ゆ）ーこ大ろるるこ
こーこ（陽）ーくーこんぐめよあはこ物ゆアがーこる（ゆ）トこもよりあこ
ろこうとあこ（陽）ーあいこくーこ（ほのあ）ーいあ人ーるぞるとゆこ（ゆ）ゆアろ

本清

[illegible]

きこえて水へのぞくこと。おいらまでもあるまいぞ。

[illegible]

あるまこも繰所ことまろむれさ。はやろうあぶくとろうしてやろう

[illegible]

ハアはれめしうさえ。ドレ　あるくいうふうとふる　ト　あるくもえをしてそ

[illegible]

ゆしまろうもそれよりも大町の者くまよ

いうこうこそ水　まだうくやまうひいろる

後本曽我　漢繰　栗毛八編　下終